

読む ミルク



山代温泉の楽劇「大田楽」
をご存知ですか？ 先日、知
人から声を掛けられ、鑑賞す
る機会に恵まれました。
大田楽は歴史的な催しでは
なく、日本を代表する狂言師
だった野村万之丞さんによる
創作楽劇で、今年で13回目。
平安時代から室町時代にか
けて流行した五穀豊穡を祈る

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

「田楽」という舞に、現代と
西洋の感覚を取り入れて創作
されたそうです。
服部神社前の特設会場は、
石段前の道路の両サイドが階
段式の観客席となり、どこか
らでも舞台が見られるように
設営されていました。開演時

色とりどりの衣装や笠をまと
った地元の老若男女が笛や太
鼓に合わせ、すばらしい構成
の踊りを披露してくれまし
た。舞台と観客席が同じ目線
で、しかも極めて近距離に設
置され、なんとも言えない臨
場感、一体感がありました。

こともなく、風情を感じるこ
ともなく、翌日には朝食を食
べて早々と宿を出る――。
しかし、山代温泉の大田楽
は、会場まで歩きながら温泉
街の風情を楽しむことがで
き、地元の人たちが、派手
はないけれども感動を与える
演出に演出で取り
組んでいます。こ
うした試みは、温
泉街の人たちのま
ちづくりに対する
意欲の向上や、山代温泉への
リピーターを生み出す付加価
値の創出につながっていると
感じました。

山代温泉の大田楽

間の午後8時、配布されたう
ちわに書かれたプログラム通
り、どこからともなく懐かし
くなるような古の響きが聞
こえて来ました。
しばらくすると、女優の松
坂慶子さんが2人の愛娘を笹
女として従え、神事の火入れ
式が始まりました。そして、

1993年度に文化庁芸術祭
賞を受賞したのもうなずけま
す。
各地の温泉街は、マンネリ
化や過大な設備投資で衰退が
進んでいるといわれています。
夕方に入館して大浴場に
入り、代わり映えのしない部
屋で食事をし、温泉街を巡る

来年は時間に余裕を作り、
大田楽が始まる前にゆっくり
と山代温泉街を散策したいと
思います。みなさんも鑑賞し
てみませんか？